

令和8年3月30日

関係各位

みどりの学び舎
世田谷区立上北沢小学校
校長 三浦 健仁

令和7年度自己評価報告書及び改善方策

前年度の改善方策について実行した改善結果

〈自己評価報告書を作成するに当たって〉

・学校評価アンケートの項目にそって、「児童のアンケート調査」「保護者のアンケート調査」「地域のアンケート調査」「教職員の自己評価」から、次年度の改善点の方向性を示しています。

(1) 児童のアンケートの評価結果○は肯定的評価が高いもの ●は低いもの

○タブレットを使って調べたり、自分の考えをまとめたり、周りの友達と一緒に相談したりしている。(86.3%)

○学校行事は達成感がある。(83.5%)

○先生たちは丁寧に指導してくれる。(83.0%)

●区立中学校に関する情報が提供されている。(39%)

●すすんで読書している。(42.8%)

●自分の生き方や将来について、考える授業がある。(57.1%)

〈考察と改善策〉

○今年度も授業、学校行事の双方で、児童が充実感のもてる取組を行えたことがわかる。学習に関しては、令和6年度から高学年において教科担任制を取り入れるとともに、校内研究の主題を「個別最適な学びと協働的な学びの実現」に改訂して校内研究を進めてきた効果が表れたものと考えられる。また、個別最適な学びの実現を目指すことにより、個々に応じて教員が対応していることが結果に表れていると考えられる。

●区立中学校の情報に関しては、否定的な回答よりもわからないと回答している児童の割合が高かった。学び舎での生徒会・児童会でのオンライン交流を実施してホームページ上で公開しているが、更なる情報発信の形を模索していく。読書に関しては、図書委員会による読書週間での取り組みを昨年からさらに工夫して行っていくとともに、これまで行ってきた朝読書・読み聞かせボランティア「おはなしたんぽぽ」による読み聞かせを行ったが、さらに読書が多くなるような工夫を取り入れていく。自分の生き方や将来について考える授業に関しては、わからないと回答している児童が20%弱いた。児童自身がねらいをより強く意識できるように単元の扱い方を工夫していく。

(2) 保護者のアンケートの評価結果○は肯定的評価が高いもの ●は低いもの

- 本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。(95.5%)
- 学校公開や保護者会などで、児童の様子がわかる。(92.3%)
- 学校行事は子供にとって達成感がある。(91.4%)
- 子どもたちは、進んで読書している。(41.3%)
- 「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。(43.0%)
- 子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。(44.9%)

<考察と改善策>

○安全に関する指導については、今年度も学校公開で避難訓練を実施したことや保護者の方に参加していただくセーフティ教室を実施したことが、ご理解いただいた要因と考える。また、保護者会では子供たちの様子がわかるような写真を用いて取り組むような工夫をすることで、ご理解いただいたものとする。学校行事について高い肯定的評価が出ているのは、子どもたちが自分たちの考えを生かして取り組めるような学校行事の運営に引き続き取り組んだことで、子どもたちの充実した様子をご覧いただけていることが大きな要因として考えられる。

●読書に関しては、図書委員会の取り組みの工夫や朝読書、おはなしタンポポによる読み聞かせなどを通して、読書のきっかけをさらに広げていく。学び舎では回答では昨年度に比べて7.4ポイント上昇した。ホームページや学校だよりで中学校との交流について触れたことによるものと考えられる。引き続き情報発信を工夫していく。子どもの生き方や将来のことについての授業は、わからないと回答している割合が3割ほどあり、6年生のキャリア教育単元がアンケート実施後であることが要因と考えられる。

(3) 地域アンケートの評価結果 ○は肯定的評価が高いもの ●は低いもの

- 学校からのお知らせ(学校だより)などにより学校の様子が分かる(100%)
- 学校は安心・安全な学校づくりを進めている。(100%)
- 学校は、安全性を高めようと地域と協力している。(100%)
- 本校の子どもたちは、相手に伝わるようにあいさつをしている。(33%)
- 本校の子どもたちは、学習を通して自分の考えが深まっている。(33%)
- 本校の子どもたちは、すすんで働いている(33%)

<考察と改善策>

○学校だよりで各担当から様子をお伝えすることで、皆さんに学校のことをご理解いただいたものとする。また、令和7年度は地域の方々にも交通安全教室や授業補助など多くの場面でお力添えを頂き、深く感謝している。お力添えを頂く方々にこれからもわかりやすくご案内ができるようにしていくとともに、交通安全教室や地域清掃など、子どもたちの安心・安全につながる取り組みを継続していく。

●学校経営方針の柱の一つである「あいさつ」が、学校では高まってきているように感じられるものの、地域ではまだまだであることが認識できた。より一層しっかりとしたものになっていくよう、子どもたちに意識付けしていく。

(4) 教職員アンケートの評価結果 ○は肯定的評価が高いもの ●は低いもの

- 学校行事の準備は適切に行われている。(75%)
- 学校の教育環境は整備されている。(75%)
- 日常的な施設・設備の点検や管理が適切に行われている。(75%)
- 「人の話をよく聞き、協働的に学びに向かう子どもの育成」が達成されている。(41.9%)
- 地域の行事等に教職員が積極的に参加している。(35.5%)
- 食育の推進に計画的に取り組んでいる。(39.3%)

<考察と改善策>

○児童アンケート、保護者アンケートともに行事に関する肯定的な意見の割合が高かったが、教職員の準備が適切に行われていることによるものであることがわかる。また安全点検や環境設備について組織的に取り組んでいることによることがアンケート結果に表れている

●令和7年度は多くの教職員の異動があった。本校児童の話の聞き方については向上してきているものの、他校から異動してきた教職員には話の聞き方が不十分であると捉えている。今後も話の聞き方を重点的に指導していく。

地域行事については働き方改革の一環として、担当学年児童の関わるものについて参加を促してきた。

食育に関しては給食指導時に取り組むことが多くあるが、より栄養士と連携して取り組むようにしていく。

(5) 前年度の改善方策について実行した改善結果

○「学び舎」の区立(幼稚園)中学校についての情報提供について
ホームページや学校だよりで学び舎での連携について触れることで

「「学び舎」の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている。」の肯定的な回答の割合が、35.6%(R6)→43%(R7)に増加した。